

令和7年度事業報告

1 両施設の事業結果概要

令和7年度は、北陸新幹線県内開業から2年目を迎え、未来への可能性が広がる「ふくい新時代」の効果を一過性のものにとどめることなく、交流人口の持続的な拡大や地域産業への活性化をさらに進めていく重要な時期を迎える中で、福井県産業会館（以下「産業会館」という。）および福井県産業振興施設（以下「サンドーム福井」という。）においても、「商工会女性部全国大会」、「日本の技/福井お宝博」、「全日本ウエイトリフティング選手権大会」など全国規模の多様なイベントが開催されました。

一方、施設の経年劣化に伴う修繕費や委託費の上昇などコストアップ要因は引き続き継続しており、当財団を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした中、当財団においては、産業会館とサンドーム福井が一層緊密に連携し、提案型訪問営業を強化することで、新たな分野での催事の開拓や複数回利用につながる催事の確保に、積極的に取り組んでまいりました。

その結果、利用日数については、両館ともほぼ年間目標を達成しました。一方、事業収益については、産業会館では新規利用者の増により年間目標を上回りましたが、サンドーム福井では、令和6年度過去最高となったコンサート回数が減少したことにより下回りました。

2 対処した両館共通の主な取組

(1) 営業活動

- ・積極的な訪問営業を実施し、直接対面で類似イベントの利用例やサービスの説明を行うことで信頼感の醸成を図り、建築・住宅や食品などの業種で新規利用者を獲得しました。
- ・毎月開催する営業企画会議において、営業成果や課題、効果的な営業方法を検討し、会議結果および営業実績を役職員全員が情報共有して、サンドーム福井と産業会館一体となった営業活動を進めました。

例えば、今年改修による閉館予定の鯖江市嚮陽会館利用者に対する営業については、丹南方面はサンドーム福井、福井方面は産業会館と役割分担して実施したほか、全国を巡回している展示会などについても、両施設一体となって営業活動を実施しました。

- ・また、両施設利用者の同業者や、利用者に関連のある取引事業者に対し、過去の類似事例による提案型営業（例えば、社内レクリエーションや社内研修など）を行うことにより、新規利用者の獲得に努めました。
- ・関係業界情報の収集と催事の開催増などを目的に、役職員によるコンサート主催者（新潟：6月、石川2月、大阪：3月）、展示会等主催者（中京：8月、関東：12月）への訪問営業活動を実施しました。
- ・（公財）ふくい産業支援センターが発行する事業所向け情報誌に、施設利用の広報チラシ（3,400部）を同封し、過去利用実績者、新規利用者の確保に努めました。
（施設利用広報チラシによる利用実績 4件）

(2) 施設の維持管理

- ・省人化・省エネ投資、施設設備の機能向上、障がい者・高齢者等に優しい施設づくりなどに重点を置き、安全・安心・快適で使い勝手の良い、清潔な施設環境を整えました。
- ・「施設が商品」という認識の下、経年劣化に伴う建物の機能低下を最小限度に留めるため、各施設設備の修繕・更新の時期を調整し、経費の平準化を図りながら、必要な修繕・更新を計画的に行いました。

また、使い勝手の良さの維持、安全・安心の確保に向け、法令等に基づく定期点検および不良箇所の補修を確実に実施しました。

《各施設の修繕・更新・補修の実施件数と金額》

施設名	区分	令和7年度	令和6年度
産業会館	件数	58件	65件
	金額	23,092千円	22,660千円
サンドーム福井	件数	59件	63件
	金額	9,751千円	17,235千円

- ・良好な景観を保持するため、両施設において、財団役職員で敷地外周の植栽管理業務（剪定、除草・除草剤散布、芝刈り等）を実施しました。
(4月～11月)

- ・夏季・冬季には、利用者の意向に応えつつ、デマンド監視装置を利用し、空調（冷暖房）・照明を効率的に運用することにより、消費電力量等の節減に努めました。

(3) 情報発信力の強化

- ・HPに掲載している最新イベント情報や施設の収容人数・利用料金などの各種情報に加え、北陸新幹線県内開業に合わせ、施設へのアクセス情報を更新し、掲載しました。(通年)
- ・Xやメールマガジン（登録者数 650 人(3月末現在)）などを活用し、週ごとに催事情報やリアルタイムのお役立ち情報の提供に努めました。(通年)

(4) 産業観光の情報提供

ア 両館共通

- ・館内において市町の観光ポスターの掲示や観光パンフレットの配置に加え、伝統工芸品の展示を実施しました。これにより、地域の観光地や県産品の魅力を広く紹介し、多彩な魅力を発信する場として活用しました。(通年)

イ 産業会館

- ・令和6年度に日本和紙クラフト協会の協力を得て1号館ロビーに設置した越前和紙を使った桜の花の展示に、様々なフラワーアレンジメント作品を新たに追加し、多くの来場者に地域の産業資源をより魅力的に紹介することができました。(通年)

ウ サンドーム福井

- ・コンサート来場者のために、福井ものづくりキャンパス内の一角にサンドーム福井や県内観光名所を背景とした撮影スポットを設置し、越前和紙の装飾を加えたコンサートのアーティストグッズやぬいぐるみなどと一緒に記念撮影できる場を提供しました。
- ・コンサート時に物産協会、商工会議所やサンドーム福井による県産品の販売コーナーを設置しており、サンドーム福井のコーナーでは、令和5年度に製作したオリジナルのお茶「サンドームに行こっ茶」(鯖江高校デザイ

ン科生徒との協働製作)と福井県銘菓(大福あんぱん)のセット販売を行いました。

(1回30セット販売)

- ・管理事務所前の掲示板をリニューアルし、サンドーム福井に来館した福井県にゆかりのある人物にまつわる掲示(野球選手のサイン色紙等)を行いました。(6月～)
- ・館内において市町の観光ポスターの掲示や各市町から新たに制作されたパンフレットを取り寄せ、配置しました。
- ・デザインセンターふくいとの協力で、福井ものづくりキャンパス2階のデザインアーカイブのコーナーにて、デザイン性の高い県産品や伝統工芸品の展示を行いました。

(5) 職員の育成等

- ・職員の情報発信力強化のため、インスタグラム研修(9・10月)やワードプレス研修(ホームページ編集ソフト)(12月)を受講し、職員の基礎知識の向上に努めました。
- ・役職員の心身の健康増進および活力ある職場づくりの一環として、全役職員を対象とした「メンタルヘルス研修(6月)」と「健康セミナー(12月)」を実施しました。
- ・職員の資格取得を支援する制度を活用し、冬季の除雪作業に不可欠な小型車両系建設機械(整地等3t未満)運転(8月)や危険物取扱者免状(乙種第5・6類:7月、乙種第1類:11月)、日商簿記検定試験3級(10月)の資格をそれぞれ1名が取得しました。

(6) その他

- ・管理運営事務のDX化として、各種請求書のデジタル保存や業務の一部に電子決裁を導入するとともに、ウェブ会議や資料作成にあたる打ち合わせをペーパーレスで行うことにより業務の効率化を図りました。(通年)
- ・「子供は社会の宝、財団職員は全員で子育てを応援」という理念のもと、育児・介護休業規程を改正し、男性職員1名の時差出勤の実施に結びました。(1月～)

- ・役職員に対し、芸術・文化・スポーツなど自らが関心を持つ分野において、知識、技能の向上を図る目的のための活動に対する助成額の増額を行うなど福利厚生の充実を図りました。
- ・また、役職員全員が生活習慣病予防検診の受診など各種健康推進活動を積極的に実施したことにより、令和6年度に引き続き「健康経営優良法人」に認定されました。

3 産業会館の運営状況

(1) 年間目標と結果

- ・利用日数については、1号館は「全日本ウエイトリフティング選手権大会」、「フクモクフェス」などの行政イベントや就職関連の民間事業者の新規利用により、目標を上回りました。
- ・2号館は家具小売店の展示会がサンドーム福井で開催されたことや、建築・住宅関係の展示会の減少により目標を下回りましたが、全体的には、ほぼ年間目標を達成しました。
- ・事業収益については、新規利用者の増により、目標を上回りました。

《展示場における主な催事》

リビングフェア 2025(4月)

① 令和7年度 第85回全日本ウエイトリフティング選手権大会 (4月)

フクイ建設技術フェア 2025(9月)

② フクモクフェス 2025(9月)

北陸技術交流テクノフェア 2025(10月)

北陸ヤーンフェア 2025(11月)

[各展示場別利用日数および事業収益]

区 分	年間目標	年 度				目 標 達 成 率 (%)	
		7	6	5	4		
利 用 日 数	1号館展示場	220	224	190	255	226	101.8
	2号館展示場	220	200	201	238	216	90.9
	本館展示場	155	177	144	191	170	114.1
	多目的ホール	165	142	153	192	177	86.1
事業収益(千円)		135,000	146,719	130,231	163,529	135,639	108.6

(2) 対応した主な取組

ア 施設等の管理

- ・施設設備を安全・安心・快適に利用いただけるよう、法令に基づく定期点検の確実な実施に加え、施設の長寿命化を目指した対策を計画的に進めました。
- ・外壁について、経年劣化によりタイルの浮きや剥落等の危険性が懸念されることから、利用者および通行者の安全を確保するため、外壁打診点検を実施しました。(11月)
- ・監視カメラ増設による施設管理の効率化(11月)や職員自らが行う園地管理(芝刈り機導入)による低コスト化(4月～11月)を進めました。
- ・施設の景観向上と来館者の憩いの場を創出することを目的に、令和6年度から歩道や広場などの外構整備および庭園の再整備を実施しました。(3月完了)

《主な修繕工事等》

本館展示場南側 壁面総合修繕	2,310 千円(9月完了)
監視カメラ整備工事	2,066 千円(11月完了)
エアコン取付(本館2階第2および第3会議室)	1,474 千円(12月完了)
1号館展示場壁面総合修繕	3,740 千円(1月完了)
外構整備工事	6,545 千円(3月完了予定) など

イ 情報発信

- ・HPについて、全ての貸室の予約状況を月2回(毎月1日、15日頃)定期的に更新し、空室の最新情報を利用者が確認できるよう努めました。
- ・HPにイベント内容を掲載するにあたり、可能な限り主催者からチラシ等の提供を求め、HPで公開するなど来場者がイベントの詳細を容易に把握できるようにしました。

4 サンドーム福井の運営状況

(1) 年間目標と結果

- ・イベントホールでは、「商工会女性部全国大会」や「日本の技フェア/福井お宝博」など大規模なイベントが開催され、「日本全国グルメ博」や「クリエイターズランド」も2年ぶりに開催されました。一方、コンサートは、令和6年度の過去最高回数より減少しましたが、利用日数については、ほぼ年間目標を達成しました。
- ・小ホールについては、同業種への営業や都市圏にある本社への営業により、呉服やウィッグの展示会利用が増加したことにより、目標日数を上回りました。
- ・事業収益については、コンサートの減少により、目標を下回りました。

《イベントホールにおける主な新規の催事》

第26回商工会女性部全国大会 in ふくい(10月)

日本の技フェア/福井お宝博(11月)

《イベントホールにおける再開した催事》

2年ぶり開催 クリエイターズランド(6月)

2年ぶり開催 日本全国グルメ博(11月)

[各ホールの利用日数および事業収益]

区 分		年間目標	年 度				目 標 達 成 率 (%)
			7	6	5	4	
利 用 日 数	イベント ホール	180	175	188	186	192	97.2
	小ホール	130	147	128	138	136	113.1
事業収益(千円)		190,000	156,960	224,131	160,488	176,585	82.6

(2) 対処した主な取組

ア 施設等の管理

- ・法令に基づく定期点検を実施したほか、設備・備品の定期的な更新、施設の長寿命化を図る小規模修繕工事を実施しました。

《主な修繕工事等》

- ・照明LED化等修繕(11件) 1,409千円

- ・ 消防設備関係修繕（7件） 818千円
- ・ 空調設備関係修繕（5件） 2,662千円

- ・ 令和6年度に福井県に大規模施設修繕工事を要請し、3件の大規模修繕工事が実施されました。

（県による大規模修繕工事）

- ・ 二酸化炭素消火設備ガス圧ダンパー修繕 2,970千円(6月完了)
- ・ イベントホール系統冷温水1次ポンプ修繕 3,608千円(3月完了)
- ・ 電力量計取替修繕 2,035千円(3月完了)

- ・ 令和8年度以降の福井県による大規模施設修繕工事が円滑に実施されるよう、修繕が必要な施設・設備について迅速かつ適切に情報提供を行い、予算の獲得につなげました。

（県による大規模修繕工事(令和8年度予定)）

- ・ 外壁補修工事（設計） 4,705千円
- ・ 非常用発電設備更新（設計） 2,404千円
- ・ 移動観覧席修繕 84,876千円
- ・ 消防設備修繕 4,620千円
- ・ 外部歩行者通路工事 5,720千円
- ・ 空調設備更新(～R9) 388,581千円
- ・ 水道メータ更新 17,507千円
- 合計 508,413千円

イ 自主企画事業

- ・ 地域に賑わいを創出し、親しまれる身近な施設を目指し、県、市町、地元企業、関係団体や学校等と協力して、地域産業を振興するイベントや地域への感謝を表すイベント等を実施しました。

《実施した自主企画事業》

「開館30周年おもしろフェスタ in サンドーム福井2025」

(8月2日(土)～3日(日))

子どもたちの「ものづくり」への興味関心を深め、地域に賑わいを創出し、親しまれる身近な施設を目指す体験型イベントを開催しました。今回は、はたらく車の展示の充実や伝統工芸の越前焼ふうりんの絵付けなど新たな体験を加え、前回より5団体多い85団体の参加をいただきました。特に今回は、サンドーム福井が開館して30周年を迎えたことから、記念グッズの配布や、抽選

会の実施など例年より催事内容を充実して実施した結果、2日間で前回の2.5倍となる15,000人の来場者があり、県のものづくりのすばらしさを多くの子どもたちに伝えることができました。

「スポカルFUKUI 2025」（12月13日(土)～14日(日)）

県民のスポーツ・文化活動の活性化や、県民相互の交流を促すため、スポーツ・文化等の総合型イベントを開催しました。様々なスポーツやカルチャー体験、ダンスなどのステージ鑑賞が楽しめるイベントとなりました。

(来場者数：約4,000人)

「サンドーム福井地域感謝イベント 2025・林明寛トークショー（12月21日(日)）」

小ホールで、福井県出身の俳優・演出家の林明寛氏をお招きし、仕事についてのお話や演劇体験と指導を通して来場者と交流を深めました。

(来場者数：約150人)

ウ 情報発信

- ・HPを活用し、利用者や来場者が知りたい最新イベントや施設へのアクセス、シャトルバスや臨時列車情報などをわかりやすく正確に提供するとともに、Xでも発信し、閲覧者に安心して来場していただけるよう努めました。
- ・令和6年度に福井県の人気アイドルグループを起用して作成した敦賀駅や福井駅での乗換えルートや鯖江駅から施設までの道順を案内する動画を引き続き公式YouTubeにて公開しています。
- ・(一社) 県タクシー協会と丹南地域のタクシー会社に対し、コンサート毎に来場者の地域別、客層別、終演時間などの情報を事前に提供し、タクシー会社で配車計画の見直しや増員を行った結果、ハピライン鯖江駅やサンドーム福井での待ち時間のない運行が実現しました。タクシー会社からも収益につながっているとの回答をいただきました。
- ・12月に開催されたコンサートの際、ハピライン鯖江駅を利用した来場者に対し、サンドーム福井を周知するため、カイロ(1,800個)を配布しました。もらった方からのXの投稿では喜びと感謝が多数寄せられました。

5 その他

(1) 評議員会・理事会開催状況

- 令和7年4月1日 第1回理事会(書面)
議案 理事長(代表理事)の選定の件(決議)
専務理事の選定の件(決議)
- 令和7年5月23日 第2回理事会
報告 理事長・専務理事の職務執行状況
議案 令和6年度事業報告および決算(承認)
令和7年度第1回評議員会の招集(決議)
- 令和7年6月10日 第1回評議員会
報告 令和6年度事業報告
議案 令和6年度決算(承認)
評議員の選任の件(決議)
役員を選任の件(決議)
- 令和7年6月10日 第3回理事会(書面)
議案 理事長(代表理事)の選定の件(決議)
専務理事の選定の件(決議)
- 令和8年3月24日 第4回理事会
報告 理事長・専務理事の職務執行状況
議案 令和7年度収支補正予算の件(承認)
令和8年度事業計画および収支予算の件(承認)
令和7年度第2回評議員会の招集(決議)
- 令和8年3月31日 第2回評議員会(書面)
議案 評議員の選任の件(決議)
役員を選任の件(決議)
役員等の報酬および費用弁償規程の一部改正について(承認)

(2) 福井県産業振興施設指定管理者外部評価委員会

令和8年3月19日に開催され、業務実施状況の評価としては、「概ね良好である。」との結果をいただきました。